

進路だより



【二年生版 第九号】 2016.2.10 Wed
三重県立津西高等学校 進路指導部

“軌跡”を振り返って“奇跡”を得る

この言葉は、3年生0学期始業式で中西先生がお話されたことの中にあつた言葉です。“軌跡”とは、たどってきた跡。自分がどんなことをしてきたのか、振り返ること、反省すること、とても大切なことですね。そんな努力をしている人のもとに“奇跡”という、起こるとは考えられないようなことも、起こすことができるのだと思います。校長先生は、『やり始めること』『やり続けること』『やり抜くこと』この3つを大事にしてほしいとおっしゃいました。これは、高校生の間だけではなく、人生でも大事にしていききたいことだと感じています。気づけば2月も半ば…この学年での時間も残り少なくなってきました。やり残すことのないように、悔いのないように、楽しんで過ごしてください。私もみなさんに負けないように、しっかり頑張ろうと思います♪

大学受験の仕組み～前期・中期・後期とは～

第8号の進路だよりでは、センター試験の仕組みを流れで説明しました。先日、みなさんに進路希望調査の事前用紙で、前期・中期・後期をそれぞれ考えてもらったところ、あまりイメージがないのかな…と感じたので、今回はその仕組みを説明します。

センター試験 … みなさんが受験するのは、2017年1月14・15日！

翌日は自己採点日です。学校に来て、一斉に行います。
自己採点を行った後、志望する大学に願書を提出します。

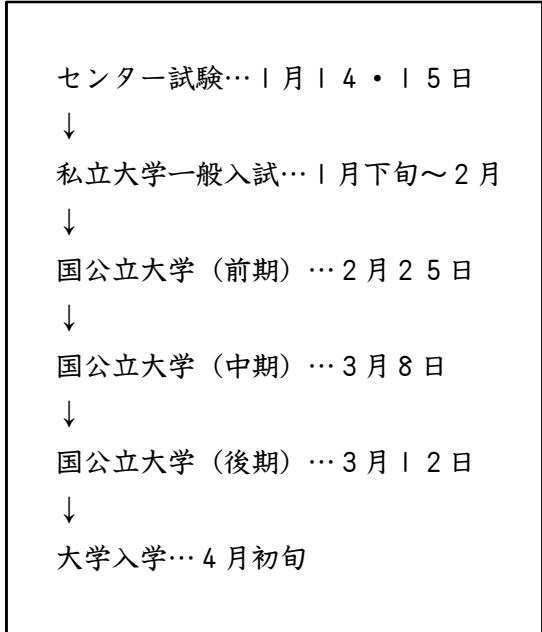
国公立大学の出願期間 … センター試験の約1週間後～約10日間

自己採点の結果を見て、思うように得点できなかった場合は、考えていた出願校を変更することもあります。
※出願時になって慌てないよう事前に複数の候補を考えておくことも必要でしょう。

2次試験（個別学力検査） … 前期：2月25日 中期：3月8日 後期：3月12日

受験生は「前期日程」と「後期日程」にそれぞれ1校ずつ出願できます。
同じ大学・学部を2回受験することも可能ですし、別々の大学・学部を受験することもできます。
また、一部公立大学では「中期日程」を設定する大学もあります。
これらを合わせると、国公立大学を受験するチャンスは最大3校可能となります。

なぜ国公立大学？～日程から見えるメリット～



センター試験が終わると、大学の個別試験がどんどん始まっていきます。最終的に社会や企業が求める人材は「努力できる人」です。高校時代にバランス良く勉強を頑張れたか、最後の最後まで諦めずに頑張れたか、というところですね。大学入学の直前にある後期入試まで頑張った人は、きっと大学でも自分の求める勉強や研究を頑張っていけるでしょう。力を伸ばし続けて大学へ行ってほしい、力を伸ばし続けたからこそ見える景色を、みなさんには見てほしいと思います。

また、企業が求める「向上心がある・途中で諦めない・一般教養がある・コミュニケーション能力がある」などの能力は、先生に教えてもらうだけで培われるものではなく、いまあなたたちが高校生活や大学受験などの経験を通して、自分自身で培っている、培うべき

能力です。無駄なことは、何一つありません。第一志望をゆずりたくなかったら、それに見合うだけの努力をしましょう。諦めたくなかったら、何度でも這い上がりましょう。その経験は、必ずあなたたちの糧になり、これからあなたたちが頑張るべき時の原動力になるでしょう。まだまだこれからです。「時間がない」「後でいい」なんて自分に言い訳せずに、やり始めてやり続けてやり抜きましょう。

はじめてのマーク模試

12日（金）の6・7限と13日（土）で、マーク模試があります。はじめてマーク模試を受けると思います。13日は夕方までありますので、まずは、マークミスのないようにマークの段がずれることのないように、長時間ではありますが、注意して集中して臨んでください。そして、自己採点のことも忘れずに、問題用紙に記入しておきましょう。

先日の2学年だよりで、各大学の今回のマーク模試の目標点数一覧を載せてもらいました。まずは、第一志望の点数獲得に向けて全力で取り組みましょう。今回の模試で「この点数がとれなかったらダメだ…」ということではなく「その点数まで上げるために必要なことは何か」を考えられる機会になればいいと思います。

また、今回の模試で志望校は8校記入できます。大学コードも、前期・中期・後期それぞれありますので、これを機にそれぞれの判定（どれくらい違うのかなど）を見てみるのもいいでしょう。

……
今回のお花は、ポーチュラカ。花言葉は「いつも元気」
テストがたくさんあり、体調も崩しがちないまの時期。来年はそんなこと言われてられません。
「いつも元気」でいられるように、願いを込めて…

